

2020年8月7日

各位

会社名 シルバーエッグ・テクノロジー株式会社
 代表者名 代表取締役社長
 トーマス・アクイナス・フォーリー
 (コード番号: 3961 東証マザーズ)
 問い合わせ先 管理部 副部長 樋之内 幸正
 TEL. 06-6386-1931

2020年12月期第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ2020年2月14日に公表いたしました2020年12月期の第2四半期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 2020年12月期第2四半期連結業績予想数値の修正 (2020年1月1日~2020年6月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 514	百万円 45	百万円 45	百万円 23	円 銭 7.97
今回修正予想 (B)	616	141	140	58	19.87
増減額 (B - A)	102	96	95	35	
増減率 (%)	20.0	211.2	208.9	151.4	
(ご参考) 前第2四半期実績 (2019年12月期)	472	27	27	14	5.01

2. 修正の理由

営業収益面につきましては、成長業界を深掘りする「Go Deep」戦略及び優秀なパートナー企業との連携強化等の施策が収益拡大に寄与したことに加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う既存顧客であるネット通販ビジネスにおいてコロナ特需が発生した結果、従来予想を上回る見通しとなりました。

利益面につきましては、営業収益の拡大に伴う通信関連費用等は増加したものの、展示会やセミナー延期等による事業活動の縮小に伴う費用削減効果により、営業利益、経常利益とも従来予想を大幅に上回る見通しとなりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券に係る減損損失を22百万円計上いたしました。上記の理由により従来予想を上回る見通しとなりました。
 当該事項につきましては、同日発表の「特別損失（投資有価証券評価損）の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染の再拡大により、収益面では主要顧客であるアパレル業界等の動向不透明感、コロナ特需の終息懸念、利益面ではニューノーマル（新常態）に適用した社内体制の整備及びマーケティング施策の事業戦略の見直し等、現時点における当社を取り巻く環境は不確定要素を含んでいるため、前回公表の業績予想数値を据え置きといたします。

今後、変更が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上